

「子どもも教職員も笑顔あふれる学校」へ 学校における働き方改革取組計画

滋賀県教育委員会

計画の概要

- 期間：令和8年度（2026）～令和11年度（2029）
- 趣旨：超過勤務解消、子どもと向き合う時間の確保、働きやすい職場づくり



主な目標

- 超過勤務 月80時間超 **0人**
- 月平均**30時間**程度
- 年次有給休暇 年**16日**以上
- 月**45時間**以内
- 年間**360時間**以内
- 「やりがい」「働きやすい」 **90%・80%以上**

「子どもも教職員も笑顔あふれる学校」を目指して

柱1：子どもと向き合う時間に専念できる環境づくり

方向性

- ・授業や児童生徒への指導に専念できる時間の確保
- ・指導・運営体制の充実
- ・外部人材の活用

目標

- ◇「やりがいがある」90%以上
- ◇子どもと向き合う時間の増加



■指導・運営体制の充実

- 代替教員の新たな確保策・配置
- 小学校における教科担任制の推進
- 小・中学校における授業時数の見直し
- 1人当たりの授業時間数の軽減
- 人材確保の推進



■外部人材の活用

- 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置
- 副校長・教頭マネジメント支援員の配置
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置



■学校と地域との連携の強化

- 保護者や地域への協力依頼・広報活動
- コミュニティ・スクールの推進
- 学校・教師が担うべき業務の精査【3分類】



■部活動改革の推進

- 部活動の地域連携・地域展開
- 部活動指導員の配置

柱2：業務の削減・効率化

方向性

- ・学校業務の見直し
- ・ICTや生成AIの活用による負担軽減・効率化

目標

- ◇超過勤務時間の縮減
- ◇ICTを活用している割合の増加



■業務のアップデート

- 学校間を横断する教材等の共有化
- 調査・通知の精査・事務連絡の発出数の把握と精査
- 学校行事等の見直し
- 会議等の削減・オンライン化・効率化
- 共同学校事務室による業務の効率化



■DXの推進

- ICTや生成AIの活用
- 採点支援システムの活用
- 統合型校務支援システムの活用
- 高校入試におけるWeb出願システムの活用



■部活動改革の推進

- 県のガイドライン「部活動の指導について」の徹底
- 中体連・高体連・高文連等との連携による業務の見直し

柱3：働きやすさの確保

方向性

- ・教職員の意識改革
- ・心身の健康
- ・柔軟な働き方

目標

- ◇「職場は働きやすい」80%以上
- ◇年次有給休暇 年16日以上



■意識・風土の改善

- 働き方改革に対する意識の醸成
- 定時退勤日・ノー残業デーの徹底
- 学校閉庁日の実施
- 働き方改革に関する好事例の共有
- 管理職研修の充実
- ハラスメントのない職場づくり



■健康管理

- こころの相談窓口の周知
- 教職員の心身の健康の保持



■教員が本来の業務に専念できるようになるための取組

- 過剰な要求をする保護者等への対応



■人材育成

- 新規採用者へのさらなるサポート



■勤務条件等の処遇改善

- 柔軟な働き方の検討（フレックスタイム制、テレワーク等）